

五時半迄大判鯉群ノ飼付ニ苦心スルモ餌付全クナシ、但シ天候C、風S、水溫二十九度二分ナリ。

九月八日 前日ノ漁場ヲ調査スルモ波高ク魚群ヲ認メズ那覇へ歸港、但シ天候B、風N、風力六、水溫二十八度七分ナリ。

### 第十五航海

九月九日 午前八時半那覇發喜屋武岬S三十湊沖附近ヲ調査スルモ魚群見當ラズ、但シ天候B、風N5、水溫二十八度七分ナリ、更ニ光德會根ニ至リ魚群ニ會フモ波浪高ク餌付不良ナレバ北上粟國ニ向フ。

九月十日 粟國近海漁場モ同様波高ク鳥影ヲモ認メザレバ那覇ニ歸港ス。

### 二、水溫觀測ノ結果

本漁業試驗中觀測セル表面水溫ニ就キ自鹿兒島至宮古線附近ノモノヲ比較研究スルニ四、五月ノ交ニ於テハ本縣近海ヨリモ七島近海高溫ナリ。

從來四、五月ノ交ニ於テハ鯉漁場トシテハ本縣近海ヨリモ七島近海が優越セル情勢ナルガ、水溫關係ニ起因スルニアラザルカ他日ノ調査ヲ俟タントス。

## 鮪延繩漁業試驗

### 一、施行方法及經過

前年ニ繼續シテ施行ス、本年度鮪漁業試驗ハ指導船圖南丸建造並ニ航海準備等ノタメ著手遲シ、亦三月初ヨリ鯉漁業試驗ニ取掛リシ關係上、試驗期間ハ短カカリシモ操業區域ハ比較的廣汎ニ互リシテ以テ、斯業經營上ノ新資料トナルモノ尠カラズ。

## 二、試験ノ方法

使用漁船百噸二百馬力スクナー型ニ船長機關長無線局長外漁夫二十名乗組電動ラインホーラーヲ使用シ、左記延繩八十鉢ヲ使用セリ。

## 三、俯廻繩構造

一鉢ノ構造 幹繩ハ二十五尋切八本ヲ結合セリ。

第一接目ニ短枝、第二ニ長枝、第三ニ短枝、第四ニ浮子繩、第五ニ短枝、第六ニ長枝、第七ニ短枝、第八ノ端ニ浮繩ヲ結ビ付ク、而シテ短枝五尋、長枝十五尋材料ハ何レモこゝるたゝ染まにら繩ヲ使用シ、幹繩二十匁子繩十匁枝繩十二匁付ナリ、各枝繩ノ先端鈎元極細九本合セわいや一五尋ヲツケ鈎ハ丹吉ノ白角形四寸二分ヲ使用セリ、浮子ハ徑四寸長サ三尺ノ桐丸太二本ヲわいや一ニテ縛合シほんでん竹取付ノタメ棕呂ノ紐ヲ付ク、ほんでん竹ハ末口徑七分長サ十二尺先端ニ棕呂皮ヲ總狀ニ結付ス。

旗赤、白各木綿巾四角ノ一方ニ竹心ヲ入レタルモノヲ交互ニほんでん竹ヲ結付ス、又とつたりノ端ニハ晝間ハ浮標樽夜間ハだるま燈若ハるびす燈ヲ結ビ付ク、五鉢又ハ十鉢目ニハ桐丸太ヲ使用セズこゝるたゝ塗りすつく製徑一尺五寸位ノ黒球浮 Floating Buoy ヲ使用シ中浮子ニハ浮樽ヲ用フ。

鮪 延 繩 漁 業 試 験 日 誌 表

年 月 日	天 候	風	氣 温	表 面 水 温	潮 流	操 業 回 數	漁 場	餌 種	料 類	場 廻 時	漁 獲 物	備 考
2, 12, 10												田舎船中サマス

2. 12. 11	B	N 2	28.7 25.0							那覇出帆鹿間味ニテ油差乗組漁夫雁入ノタメ宮崎縣油津ニ向フ
"	B	NE <sub>2</sub>	26.0 22.0							航行
"	B	NNNE <sub>3</sub>	20.5 23.7							油津港投錨 漁夫雁入ノ打合セヲナス
"	O	NE <sub>1</sub>	18.0 20.0							漁夫雁入ノタメ同縣外ノ浦ニ移泊ス
"	B	NW <sub>2</sub>	21.0 27.0							漁夫乗船
"	B, C	W 4	15.0 22.0							外ノ浦波鏡、出漁準備ノタメ鹿兒島ニ廻航、鹿兒島港外碇泊
"	B	N 2	10.5 21.8							漁具製作ニ取掛ル
"	B	NW <sub>2</sub>	13.0 19.0							漁具製作 サンプラス修繕サナス
19 26	B	N 3	13.0 16.5							漁具製作
"	B	NW <sub>2</sub>	6.0 10.0							尺控針ノ製終了
"	C, R	N 4	6.0 10.5							清純品積込ノタメ港内ニ碇泊ス
"	C, R	NNW <sub>2</sub>	5.0 9.0							食料、水、薪、燃料イカチ積込ニ無線電信機故障
"	C	NNNE <sub>3</sub>	5.4 11.3							無線電信機恢復ス
"	C	NW <sub>3</sub>	16.2 22.2							鹿兒島港出帆
3. 1. 1	C, R	W 3	16.0 21.0 21.8							沖繩近海ニ向テ航行中
"	R	N 4	20.0 21.8							荒天ノタメ慶良間阿波ノ浦ニ避泊ス

3.	1.	3	C.R	N 4	16.8	20.8								宮古島近海へ向フ
"	4	C	N 6	17.5	21.4									南進
"	5	B	N 3	16.5	23.8									名倉瀬假泊西表船浮港ニテ 水ヲ釣ミ遊揚ニ向フ
"	6	B	NE <sub>3</sub>	19.0	24.2	NE	1	(1)	冷蔵いか	PM11時40分	鯖7尾、旗魚1 尾、鰹4尾			浪高ク操業悪ハシカラズ 深灣附近漁揚ニ向フ
"	7	C	E 4	17.7	23.5									風波ノタメ基隆ニ避泊ス
"	8	B	S 5	25.2	26.4									風強ク出帆見合ス
"	9	R	N 4	20.8	18.8									漁獲物一部賣却水ヲ積ミ出 帆ニ登灣ニ沿フテ南下 ス
"	10	C	NE <sub>4</sub>	18.5	18.5									高雄寄港
"	11	C	NE <sub>4</sub>	20.5	23.5									開港出帆
"	12	C	NE <sub>6</sub>	25.1	23.5									風強ク大阪湾避難夕方風力 減シ出帆
"	13	R	NE <sub>4</sub>	28.0	24.3	NNNE	1	(2)	冷蔵いか	AM 11. 30	鯖2尾、旗魚1尾			風益々強ク操業一回ニ止メ 北上ス
"	14	R.C	NE <sub>6</sub>	34.0	24.7									西表島鹿川船地ニ避難ス
"	15	C	NE <sub>4</sub>	18.2	23.7									船浮港ニテ水ヲ取り奥那國 島附近へ向フ
"	16	B	E 3	23.5	24.7	NE	1	(3)	氷藏いか	PM 3. 50	鯖1尾、鰹2尾			海泥面白カラズ 奥那國島へ投錨ス
"	17	B	E 2	23.2	23.2									宮古島附近へ向ク投錨ス
"	18	B.C	E 2	27.0	24.8									潮流Vニ流レルガ如ク 漁具ノ一部埋結ス
"	19	B	N 3	23.5	23.8	W	1	(4)	氷藏いか	PM 3. 20	ナシ			天候險悪ノタメ優良間阿波 運船地ニ風ヲ避ケ
"	19	B	N 3	19.2	23.1									
"	19	B	N 3	24.0	20.1									

8. 1. 20	B	NE <sub>3</sub>	18.5 19.5	21.0 21.5	NE	(5)	冷蔵いか	PM 2. 00	鰹 2尾	揚網後直子ニ那期ニ向フ 那期港泊
"	21	E 2	21.5 21.8							漁獲物羅揚チナス
"	22	B SE <sub>4</sub>	24.7 24.0							那期港波泊
"	30	R NE <sub>2</sub>	11.0 17.0							引網キ那期港波泊
"	31	C.R N 2	13.0 16.0							水及食料品羅込 其他出漁準備チナス
3. 2. 1	C	NE <sub>3</sub>	12.5 18.5	19.2 22.5						那期出帆漁業ニ向フ
"	2	C NE <sub>3</sub>	17.0 20.0	21.5 22.5	NE	2	(1') (2')	PM 2. 00 10. 30	鰹 3尾、鰹 1尾、 鰹 4尾、鰹 4尾	揚網後漂流次ノ漁場ニ
"	3	C NE <sub>2</sub>	18.0 18.7	21.5 21.2	NE/N	2	(3') (4')	午後四時投 四日午前12 時40分	鰹 6尾、鰹 3尾、 鰹 14尾、鰹 4尾	同上
"	4	C NE <sub>2</sub>	18.5 23.8	20.3 22.2	NE/N	1	(5')	午後三時投 八日午前 12時40分揚	鰹 1尾、鰹 4尾、 沖ざわら 1尾	同上
"	5	C E 4	20.0 19.5	21.4 20.3	N	1	(6')	午前 11 時	鰹 魚 1尾	風波ノタメ南大東島避難
"	6	C W 3	21.0 29.0	20.0 22.2						同所出帆那期ニ向フ
"	7	C N 4	21.0	22.0						那期崎港直ニ漁獲物羅揚
"	8	C N 2	15.0 18.0							那期港
"	9	B NE <sub>1</sub>	11.0 20.0							同 氷積込
"	10	C E 1	11.0 20.0							出漁準備サニチヲ入テ取付
"	11	C N 5	15.5 22.0	21.4						燃料積込ノタメ鹿兒島ニ向フ

3.	2.	12	C	NE <sub>4</sub>	15.0	19.5									航行
"	13	B	E <sub>5</sub>	17.5	20.3										同上
"	14	B	NW <sub>4</sub>	12.0											早朝鹿兒島藩
"	15	B	NW <sub>2</sub>	13.0	18.0										水、石油積込 直子ニ出帆漁場へ向フ
"	16	C	NW <sub>3</sub>	15.5	19.5										天候悪ニテ古仁屋避泊
"	17	B	NW <sub>4</sub>	9.0	19.0										同所
"	18	C	N <sub>4</sub>	15.0	18.5	18.0	21.0								間所出帆天候悪シク漁場探 奈叶へテ廻天港ニ避難ス
"	19	C	N <sub>4</sub>	12.0	20.0	21.0									那覇歸港
"	20	C	NE <sub>3</sub>	12.0	17.0										那覇碇泊
"	21	B	NE <sub>2</sub>	13.0	30.5										那覇發富吉ニ向フ
"	22	B	SE <sub>3</sub>	19.5	21.3										富吉著
"	23														富吉碇泊
"	24														同上
"	25														同上
"	26			21.5	23.5										富吉出帆西航漁場へ向フ
"	27			23.0			N	1	1	1	1	1	1	1	漁場
"	28			23.0											

3. 2. 29		21.0	NNW	1	(2 <sup>nd</sup> )			ナ	シ	漁場
----------	--	------	-----	---	--------------------	--	--	---	---	----

### 鯉餌料焚入漁業試験

#### 一、趣 旨

從來本縣ニ於テハ鰻、赤鯉、方言うふみ等ヲ鯉餌料ニ使用シツツアルモ其ノ漁法ハ未ダ舊慣ヲ脱スル域ニ至ラズ故ニ本場ハ本試験テ行ヒ餌料魚ノ分布状態ヲ詳カニシ進ンデハ漁具漁法ノ改良ヲ計リ餌料供給ノ圓滑ヲ計ル一助タラシメントス。

#### 二、施行 方法

##### (1) 試験場所並ニ期間

國頭郡運天港内外

自昭和二年五月二十一日間  
至同 月二十二日

國頭郡名護町沖及許田浦内外

自昭和二年五月二十三日間  
至同 月二十四日

島尻郡馬天港口

自昭和二年五月三十一日間  
至同 六月二日

##### (2) 使用船及器具

和船(幅六尺長三十尺)

一隻

大坪式石油集魚燈

五百燭光二箇

表層プランクトンネット

大籠等ナリ